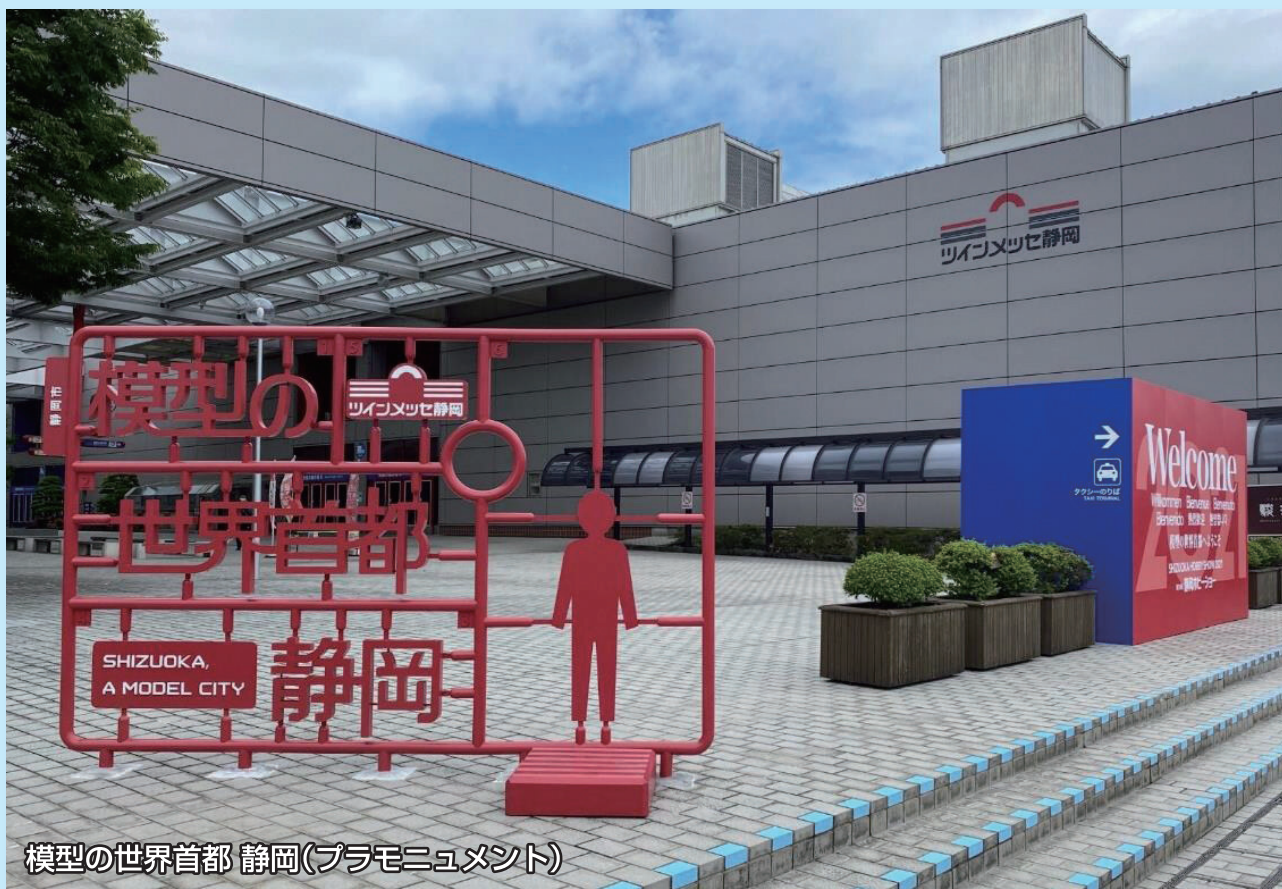


# 静岡市の財政状況



模型の世界首都 静岡(プラモニュメント)

令和4年度当初予算や、令和2年度の決算の状況などについて、市民の皆さんにご理解を深めていただくため、「静岡市の財政状況」をお知らせします。

※資料の中の数値は、記載の単位未満で端数調整を行っているため、増減など計算結果と一致しないことがあります。

## 1.はじめに

○予算・決算や会計のしくみ P 1

## 2.令和4年度当初予算について

○会計区分別予算の規模 P 2

○一般会計の当初予算の概要 P 3

## 3.令和2年度決算の状況

○一般会計決算 P 4

○主な内訳と推移 P 5

○市民一人あたりに置き換えると P 6

○特別会計、企業会計の決算の状況 P 6

○一般会計の市債の状況 P 7

○消費税引上げに伴う「増収分」の使途状況 P 8

○主な基金の使途状況 P 8

○ふるさと寄附金、競輪事業収入、宝くじ収益金の使途状況 P 9

○財務書類4表 P 11

○健全化判断比率と資金不足比率 P 12

○指標から見た市の決算状況 P 13

○令和2年度の主な事業 P 14

○令和2年度の主な新型コロナウイルス感染症対策 P 15

## 4.効率的な財政運営のために

○行財政改革の状況 P 16



静岡市

# 1. はじめに

## 予算・決算や会計のしくみ



予算とは？

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に入ってくるお金（歳入）と出ていくお金（歳出）の見積もりです。  
市長が予算案をまとめ、市議会の審議を経て決定されます。



決算とは？

1年間に入ってきたお金と支払ったお金の実績をまとめたものです。  
市の監査委員による審査を受けた後、市議会の審議を経て認定されます。



会計の違いは何ですか？

福祉、清掃、道路整備など皆さんに身近で、市の基本的な業務を行う会計を「一般会計」といいます。  
一方で、特定の収入で特定の事業を行う場合は、収支を明確にするために、一般会計と分けて管理しています。これを「特別会計」といいます。  
また、特別会計のうち、法律により民間企業と同じような経理を行っている会計を「企業会計」といいます。  
※本市の特別会計及び企業会計の決算状況は6ページに掲載しています。



歳入を分類すると

歳入には、市税や使用料のほか、特定の事業に対して国や県から交付されるお金（国・県支出金）や市町村ごとの格差を調整するために交付されるお金（地方交付税）といったものがあります。  
市税や使用料のように、市が独自に収入できるものを自主財源といい、国・県支出金や地方交付税のように、国や県の制度によって収入されるものを依存財源といいます。  
安定した財政運営のためには、自主財源の確保が重要です。



歳出を分類すると

歳出には、目的別と性質別という2種類の分類方法があります。  
目的別とは、経費の目的に着目して分類したもので、道路や公園の整備（土木費）、子育て支援や生活保護（民生費）などに分類しています。  
性質別とは、経費の性質に着目して分類したもので、下の表のように分類しています。

### 【歳出の性質別分類】

義務的経費※	人件費	議員の報酬、職員の給与など
	扶助費	生活保護費や児童手当など扶助のための経費
	公債費	市債の元金や利子を支払うための経費
投資的経費	普通建設事業費	建物や道路の建設などの経費
	災害復旧費	災害によって被害を受けた施設などを復旧するための経費

その他の経費	物件費	物品の購入、事務事業の委託など
	維持補修費	施設修繕などの経費
	補助費等	団体等に交付する負担金や補助金など
	繰出金	法例等に基づき、特別会計や企業会計に交付する補助金など
	その他	出資金、貸付金、積立金

※「義務的経費」とは、法令やその性質から支出が義務付けられている経費です。

## 2. 令和4年度当初予算について

### 会計区分別 予算の規模

令和4年度は、「2つのLife」を守るため、感染防止対策の徹底と経済回復の実現に向けた取組に予算を重点配分しながら、第3次総合計画の総仕上げとして、「5大構想」を着実に推進、また持続可能なまちを目指し、「経済社会変革」「防災・減災、国土強靱化」を推進するための予算を編成しました。それでは、まず、会計区分別の当初予算の規模を見てみましょう。

#### 全会計の予算の規模

(単位：億円)

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率(%)
一般会計	3,378	3,297	81	2.5
特別会計	2,397	2,475	△78	△3.1
企業会計	766	779	△13	△1.7
合計	6,541	6,551	△10	△0.2



一般会計の予算規模は、3,378億円で、前年度に比べ81億円、2.5%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

これは、子宮頸がんワクチン接種の勧奨再開に伴う各種予防接種費の増加などにより、物件費が約35.8億円、9.1%増加したことや、自立支援給付費や私立こども園・保育所等給付費の増加などにより、扶助費が約32.3億円、4.3%増加したこと、大河ドラマ活用推進事業の実施などにより、補助費等が約16.5億円、7.8%増加したことによるものです。

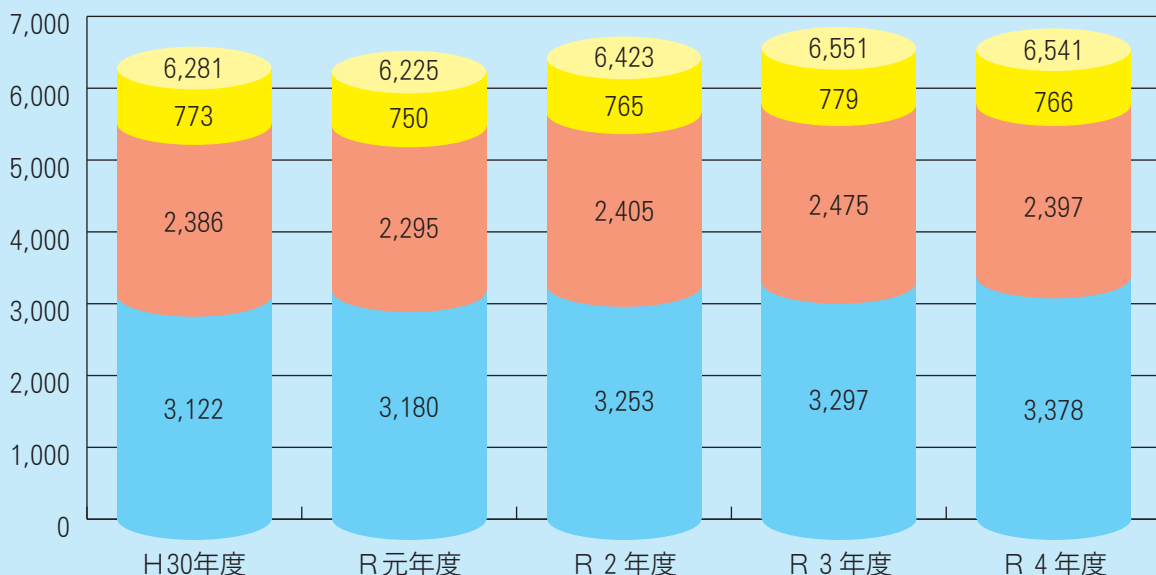
特別会計は、高齢化等による介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増加などにより、介護保険事業会計が約11億円の増となるものの、KEIRINグランプリ2021シリーズが終了したことなどにより、競輪事業会計が約93億円の減となるため、全体として前年度比約78億円、3.1%の減となっています。

企業会計は、投資計画に応じた水道管・施設各種事業の増減に伴う建設改良費の減少などにより、水道事業会計が約7億円の減となるため、全体として前年度比約13億円、1.7%の減となっています。

#### 予算の規模の推移

単位：億円

■一般会計 ■特別会計 ■企業会計



# 一般会計の当初予算の概要

※令和4年度予算の特徴や主な事業については、市ホームページ（財政課）に掲載しています。

## 予算編成のポイント

- ◇「2つのLife」を守るため、感染防止対策の徹底と経済回復の実現に向けた取組に予算を重点配分
- ◇第3次総合計画の総仕上げとして、「5大構想」を着実に推進する取組を予算に反映
- ◇持続可能なまちを目指し、「経済社会変革」「防災・減災、国土強靱化」を推進する取組を予算に反映

## 2つのLife

### いのち Lifeを守る

#### ～市民の安全・安心の確保～

- 新型コロナウイルスワクチンの確実な接種
- 検査費・入院費の助成、健康管理等の支援
- 児童福祉施設等における衛生用品等の購入支援



ワクチン接種



PCR検査

### くらし Lifeを取り戻そう

#### ～地域経済の活性化と賑わいの創出～

- 中小企業の機械設備導入等に対する支援
- 安定的な市内産木材生産体制整備のための支援
- 中小企業の円滑な資金調達のための支援



機械設備導入支援活用例のイメージ  
(新型の金属加工機)



木材の安定供給のイメージ

## 5

### 1 歴史文化の拠点づくり

- 歴史博物館の整備・運営（R4.7プレオープン、R5.1開館）
- 「どうする家康」放送にあわせた大河ドラマ館の開設・運営
- 駿府城公園の夜間景観整備によるナイトツーリズムの推進



歴史博物館のイメージ



駿府城公園ライトアップイメージ

### 2 海洋文化の拠点づくり

- （仮称）海洋・地球総合ミュージアムの整備推進
- 新興津地区人工海浜・緑地における交流施設整備の調査
- 清水駅東口周辺におけるペDESTリアンデッキの延伸整備



（仮称）海洋・地球総合ミュージアム



新興津地区人工海浜・緑地

## 大

### 3 教育文化の拠点づくり

- 「こ・こ・に」を通じたまちづくりを担う人材の養成
- 市民に開かれた環境保健研究所の移転整備
- 東静岡アート&スポーツ/ヒロバの運営



シチズンカレッジ「こ・こ・に」



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

## 構

### 4 「健康長寿のまち」の推進

- 「かけこまち七間町」の活用と認知症ケアの推進
- 市民後見人の養成等による成年後見制度の利用促進
- 静岡のブランド食材を使用したわくわく給食の提供



かけこまち七間町



わくわく給食

## 想

### 5 「まちは劇場」の推進

- 静岡市民文化会館の再整備の推進
- 春夏秋冬ごとにフェスティバルが楽しめるまちの推進
- オープンスペースを活用した公民共創によるまちなかの再生



静岡市民文化会館

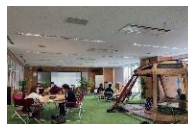


清水みなと祭り

## 経済社会変革

### 人口活力の維持

- SDGsユースサミットなど若者と企業・団体間の連携
- お試し体験事業など移住・移転の促進
- コ・クリエーションスペースにおける共創の場の提供



コ・クリエーションスペース

### デジタル化の加速

- スマートシティビジョンの策定と推進主体の設立準備
- 窓口・施設におけるキャッシュレス決済の導入



メガソーラーしみず

### 脱炭素社会の実現

- 再生可能エネルギーの地産地消に向けた取組への支援
- 脱炭素化に繋がる技術革新や新商品開発に対する支援
- CO<sub>2</sub>吸収効果の高い品種（エリートツリー・早生樹）の試験植栽

## 防災・減災、国土強靱化

### 防災・減災

- 「防災情報ポータルサイト」の構築
- 同報無線デジタル化の整備推進
- 消防団員の処遇改善と入団の促進



消防団の訓練の様子

### 国土強靱化

- 浸水対策推進プランに基づく河川改修
- 道路・橋梁の維持管理・耐震化対策
- 用宗漁港海岸胸壁整備事業



(県)静岡焼津線 石部海上橋



用宗漁港海岸胸壁整備事業

### 3. 令和2年度決算の状況

令和2年度一般会計の決算額やその推移、財政指標などから、静岡市の財政の現状を見てみましょう。

#### 一般会計決算

年度	歳入	歳出	差引
令和2年度	4,113億5,084万円	4,031億5,101万円	81億9,983万円
平成元年度	3,233億5,764万円	3,153億9,162万円	79億6,602万円

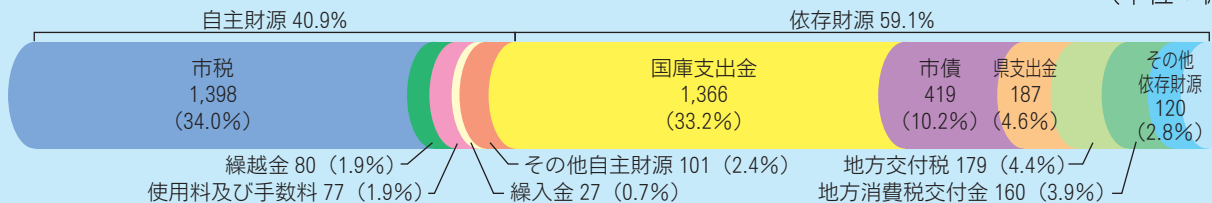


#### 【令和2年度決算の状況】

特別定額給付金の給付等の新型コロナウイルス感染症対策や、幼児教育・保育無償化の通年度化による私立こども園・保育所等給付費の増加などにより、歳入が前年度と比較して約880億円、歳出が前年度と比較して約878億円増加となりました。

#### 歳入の内訳 総額 4,114億円

(単位：億円)

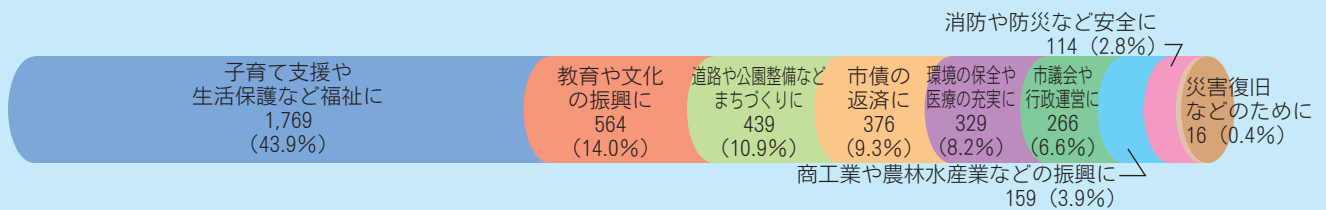


市の収入の基本である市税収入は全体の34.0%を占めています。この他、国庫支出金（33.2%）、まちづくりなどの財源となる市債（10.2%）が高い割合を占めています。

#### 歳出の内訳 総額 4,032億円

支出の目的で分類すると…

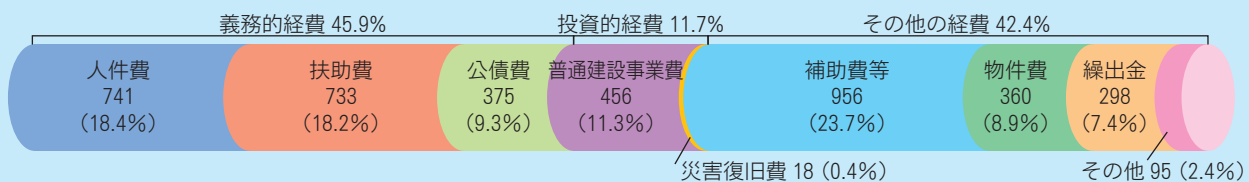
(単位：億円)



子育て支援や生活保護などの福祉の分野の全体に占める割合が43.9%と高い割合となっています。この他、教育や文化の振興の分野（14.0%）や道路や公園整備などのまちづくりの分野（10.9%）の割合が高くなっています。

支出の性質で分類すると…

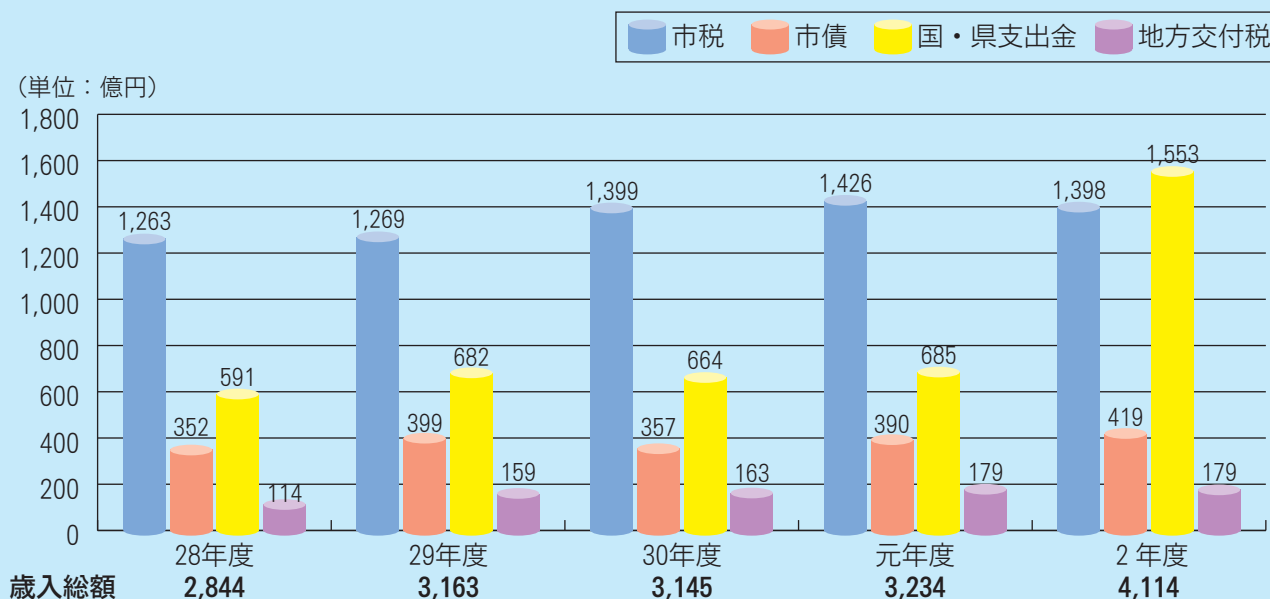
(単位：億円)



義務的経費は全体の45.9%となっており、人件費18.4%、扶助費18.2%と全体の中でも高い割合を占めています。また、投資的経費が11.7%、その他の経費が42.4%となっており、中でも新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金の給付等により補助費等が、23.7%と、最も高い割合を占めています。

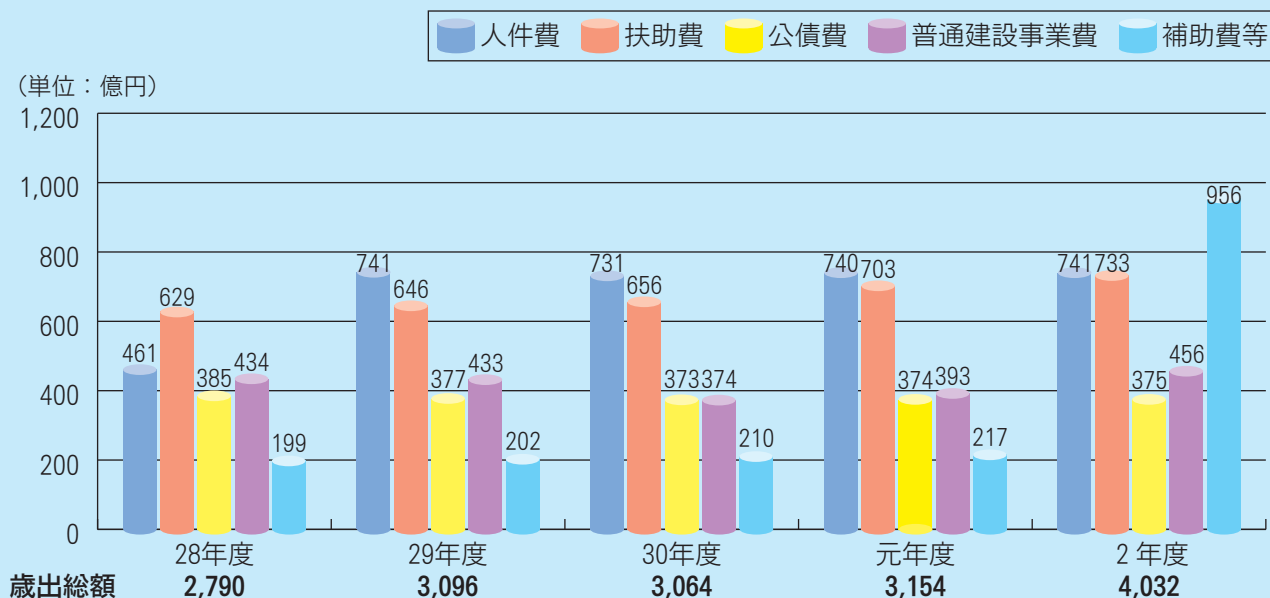
## 主な内訳と推移

### 主な歳入の推移



市税は、法人税割の税率引下げや法人収益の減少等により、前年度に比べ約28億円減額となりました。一方、国・県支出金が、特別定額給付金の給付等の新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴い、前年度に比べ約868億円増額となりました。

### 主な歳出の推移



人件費は、平成29年度以降ほぼ横ばいで推移しています。  
 扶助費は、年々増加傾向にあり、令和2年度は、私立こども園等に対する給付費や自立支援給付費などの増により、前年度に比べ約30億円増加しました。  
 普通建設事業費は、沼上清掃工場の基幹改修工事や小中学校におけるネットワーク整備の増などにより、前年度に比べ約63億円増加しました。  
 また、補助費等は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金の給付等により、前年度に比べ約739億円増加しました。

## 市民一人あたりに置き換えると

### 市の支出を市民一人あたりに置き換えると

※令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口69万2,374人で計算しています。

○子育て支援や生活保護など福祉に…



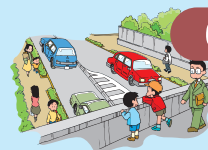
25万5千円

○教育や文化の振興に…



8万2千円

○道路や公園整備などまちづくり…



6万3千円

○市債の返済に…



5万4千円

○環境の保全や医療の充実に…



4万8千円

○市議会や行政運営に…



3万8千円

○消防や防災など安全のために…



1万7千円

○商工業や農林水産業等の振興に…



2万3千円

○災害復旧などのために…



2千円

市民サービス全体では…58万2千円

### 市民一人あたりの市税負担額は

市民税	固定資産税	都市計画税	市たばこ税	事業所税	軽自動車税ほか	合計
9万4千円	7万8千円	1万5千円	6千円	6千円	3千円	20万2千円

## 特別会計、企業会計の決算の状況

特別会計として13会計、企業会計には4会計があります。

	会計名	歳入	歳出	差引額
特別 会計	電気事業経営記念基金会計	2億2,993万円	2億2,983万円	10万円
	土地区画整理清算金会計	480万円	447万円	33万円
	母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計	5億 132万円	3億2,582万円	1億7,550万円
	公債管理事業会計	611億1,441万円	611億1,441万円	0万円
	競輪事業会計	135億 531万円	129億2,041万円	5億8,490万円
	国民健康保険事業会計	687億6,600万円	667億8,207万円	19億8,393万円
	農業集落排水事業会計	3億3,152万円	3億2,988万円	164万円
	駐車場事業会計	1億9,300万円	1億9,282万円	18万円
	介護保険事業会計	692億3,306万円	687億4,661万円	4億8,645万円
	介護保険サービス会計	5,990万円	5,980万円	10万円
	中央卸売市場事業会計	6億4,953万円	6億 811万円	4,142万円
	後期高齢者医療事業会計	97億7,412万円	94億7,387万円	3億 25万円
	静岡市立静岡病院事業債管理事業会計	10億2,548万円	10億2,548万円	0万円
企業 会計	病院事業会計	121億1,409万円	121億6,676万円	△5,267万円
	水道事業会計	105億2,138万円	89億9,133万円	15億3,006万円
	下水道事業会計	211億5,966万円	198億5,556万円	13億 410万円
	簡易水道事業会計	1億2,980万円	1億3,491万円	△511万円

## 一般会計の市債の状況

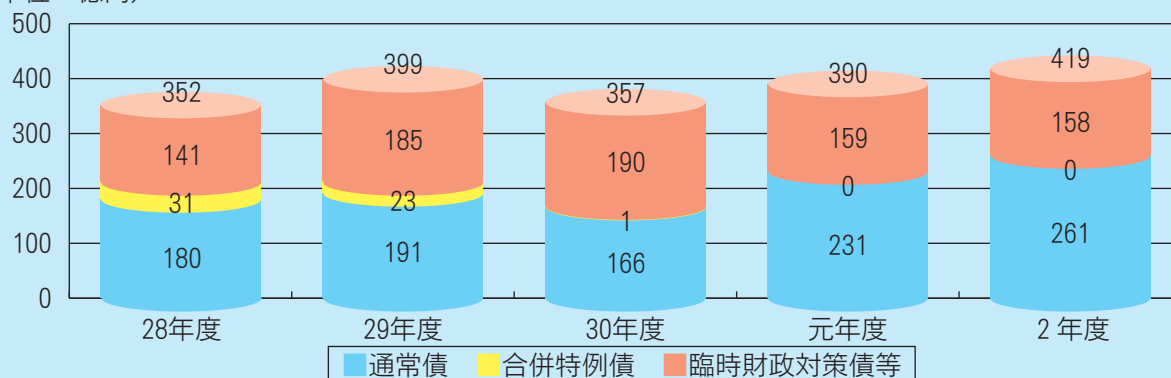
市債は、市が建設事業などを行う際の資金を調達するための借入金です。

本市では、将来の市民も利用することができる建物等を建設する場合、建設時の市民だけが多額の建設費を負担するよりも、将来の市民にも負担していただく方が公平である、との考えで市債を活用し、都市・生活基盤（道路、公園、清掃施設など）の整備を進めています。

市債残高が増えると将来の負担が大きくなっていくため、適切な管理を行っています。

### 市債発行額の推移

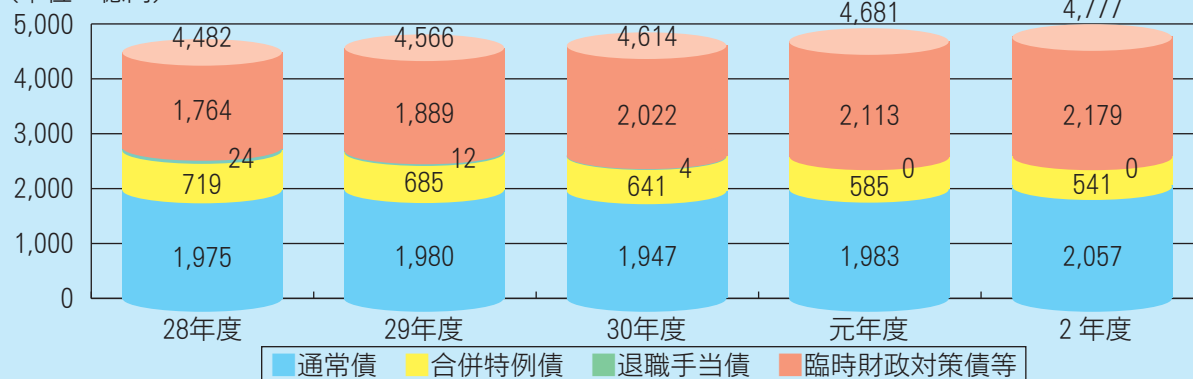
(単位：億円)



合併特例債の発行が平成29年度に終了したことなどにより、平成30年度は一時減少したものの、令和元年度以降は学校教育施設等整備事業債などの増により増加傾向にあります。令和2年度は、前年度と比べ、臨時財政対策債等で約1億円減少しましたが、通常債で約30億円増加したことにより、全体では、約29億円増加しています。

### 市債残高の推移

(単位：億円)



市債残高の総額は、増加傾向にあります。令和2年度は、前年度に引き続き、合併特例債が減少する一方で、通常債と臨時財政対策債が増加したことにより、市債残高の総額は増加しています。



- 通常債**：主に道路建設や建物の建設などの財源として発行します。合併特例債、退職手当債、臨時財政対策債などの特例的に発行が認められているもの以外の地方債です。
- 合併特例債**：合併した市町が、新市建設計画に基づく事業の財源として発行できる地方債で、合併した年度とそれ以降の10年間（29年度債まで）に限り発行できます。
- 退職手当債**：退職手当の額が著しく多額となる年度の財政運営に対応するため、職員数の削減などを条件として、平成18年度から令和7年度までの期間、発行が認められる地方債です。
- 臨時財政対策債**：臨時財政対策債は、国から地方に交付される地方交付税の不足分をいったん地方自治体が地方債としてまかなうものです。



## 消費税引上げに伴う「増収分」の使途状況

平成26年度からの消費税率の引上げに伴い増収となった地方消費税交付金は、約83.2億円となりました。この増収分は社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てています。

※社会保障4経費その他の社会保障施策に要する経費とは、社会保障4経費（年金、医療、介護、少子化対策）を含む、社会福祉（生活保護、児童福祉、高齢者福祉など）、社会保険（国民健康保険、介護保険、年金など）、保健衛生（医療、感染症ほか疾病対策、健康増進対策など）に要する経費をいいます。

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費への充当状況】

（単位：千円）

区 分		決 算 額	財 源 内 訳		
			特定財源	一 般 財 源	
				うち引上げ分の 地方消費税交付金	
社会福祉	社会福祉事業	23,048,292	9,053,869	13,994,423	1,970,208
	児童福祉事業	41,148,259	26,217,395	14,930,864	2,102,045
	生活保護事業	15,311,324	11,497,892	3,813,432	536,875
	教育総務費	1,129,539	852,011	277,528	39,072
	小計	80,637,414	47,621,167	33,016,247	4,648,200
社会保険	国民健康保険事業	4,269,050	2,555,667	1,713,383	241,219
	介護保険事業	9,200,620	518,526	8,682,094	1,222,311
	後期高齢者医療事業	1,738,931	1,304,261	434,670	61,195
	小計	15,208,601	4,378,454	10,830,147	1,524,725
保健衛生	保健衛生事業	2,029,563	311,810	1,717,753	241,834
	保健予防事業	6,629,295	2,618,448	4,010,847	564,668
	健康対策事業	4,005,142	442,331	3,562,811	501,591
	病院事業	5,946,664	0	5,946,664	837,202
	小計	18,610,664	3,372,589	15,238,075	2,145,295
合計		114,456,679	55,372,210	59,084,469	8,318,220

## 主な基金の使途状況

国際交流基金繰入金は、静岡市国際交流協会法人化事業の財源として5,000万円、社会教育施設整備基金繰入金は、静岡音楽館管理運営事業などの財源として2,864万円を活用しています。

（単位：千円）

基金名称	繰入金額	主な充当事業	充当額
国際交流基金	50,000	静岡市国際交流協会法人化事業	50,000
社会教育施設整備基金	28,644	静岡音楽館管理運営事業	12,600
		南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家管理事業	8,930
		図書館整備事業	7,114

## ふるさと寄附金、競輪事業収入、宝くじ収益金の使途状況

### ふるさと寄附金（しぞ〜かふるさと応援寄附金）の使途状況

「静岡市を応援したい」という方からのふるさと寄附金を本市が実施する各種事業の財源として活用しています。

ご寄附いただいた個人へ静岡市の誇る地場産品などを返礼品として贈呈しているほか、ふるさと納税サイト自治体ページでの動画配信、各種媒体への広告掲出を行うなど、ふるさと寄附金を通じたシティプロモーションを展開しています。

令和2年度の決算額は5億878万円（16,402件）で、前年度の2億3,211万円（10,776件）から2億7,667万円（5,626件）の増加となり、以下の事業に活用しました。

#### 活用事業一覧

（単位：千円）

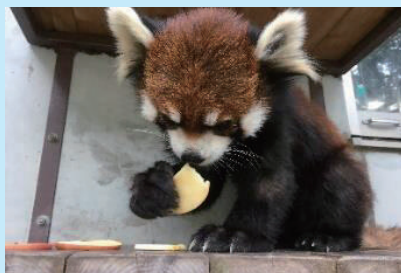
施策メニュー（A）	事業内容	充当額
新型コロナウイルス感染症関連施策	新型コロナウイルス感染症関連施策基金に積立	65,535
清水港を活かした海洋文化都市づくり	清水港客船誘致事業 ほか	36,359
世界文化遺産「富士山」構成資産 三保松原保全・活用	老齢大木の樹勢回復事業、三保松原保全活動支援事業 ほか	37,446
日本平動物園の魅力バージョンアップ	日本平動物園運営事業	34,016
オクシズ／南アルプスユネスコエコパークの環境保全・活用	中山間地振興、オクシズスポーツツーリズム事業、南アルプス動植物環境調査事業 ほか	30,857
しずおか女子きらっ☆プロジェクト	しずおか女子きらっ☆ブランド認定商品PR、女性活躍支援事業	3,200
駿府城跡天守台発掘調査	駿府城天守台発掘調査事業 ほか	9,420
祭りやイベントによる賑わいあふれるまちづくり	文化芸術振興基金に積立、スポーツ振興基金に積立	1,120

※1 「市長におまかせ」として受入れた寄附金も含まれます。

分野別メニュー（B）	分野に含まれる事業の例	充当額
観光交流、農林水産、商工	外客誘致推進事業、しずまえ鮮魚普及事業 ほか	3,522
子ども・教育	子ども医療費助成、小中学校情報教育推進事業 ほか	263,780
健康・福祉	がん検診費、重度心身障害者医療費助成、清水病院事業 ほか	10,491
社会基盤、防災・消防	消防車両購入	2,640
文化・スポーツ	清水エスパルス応援事業、文化振興事業補助 ほか	2,602
クラウドファンディング	食料支援から始まる子ども応援プロジェクト、子ども食堂 ほか	7,799
総計（A）+（B）+（クラウドファンディング）		508,787



三保松原保全活動を実施しました。



動物の飼料費として活用しました。



8件の商品をしずおか女子きらっ☆ブランドに認定しました。  
（写真撮影時のみマスクを外しています。）

## 競輪事業収入の使途状況

静岡競輪の事業収益の一部は、本市の一般会計へ繰り入れられ、市の福祉や教育の分野で活用されています。令和2年度の決算額は1.5億円で、前年度と同額となりました。

(単位：千円)

分野	事業内容	充当額
地域振興	集会所建設費助成	50,000
教育	小学校校舎改修事業	40,000
教育	中学校校舎等補修事業	60,000
合 計		150,000

集会所建設費助成  
(地域振興)



小学校校舎改修事業  
(教育)



## 宝くじ収益金の使途状況

宝くじ事業の収益金は、市政の各分野で身近な暮らしのために活用されています。令和2年度の決算額は、17億480万円で、前年度から3,905万円増加しました。

(単位：千円)

区分	主な事業内容	充当額	
公共事業その他公益の増進を目的とする事業	地域の国際化の推進	自治体国際化協会静岡市支部負担金	9,000
	高齢化・少子化等に対応	老人福祉センター運営事業 児童館運営事業 ほか	703,000
	芸術・文化の振興	市民文化会館管理運営事業 図書館管理運営及び図書整備充実事業 ほか	471,000
	災害の予防	防災施設維持管理事業 急傾斜地崩壊対策事業 ほか	43,000
	地域経済の活性化	こどもクリエイティブタウン管理運営事業 「ホビーのまち静岡」推進事業 ほか	141,000
	環境の保全及び創造	ごみ減量対策事業 地球温暖化対策補助事業 ほか	337,775
購入者に対するサービスの向上	宝くじ事務協議会に対する分担金及び負担金	26	
合 計		1,704,801	



児童館運営事業  
(高齢化・少子化等に対応)



市民文化会館管理運営事業  
(芸術・文化の振興)

## 財務書類 4 表

財務書類 4 表とは、市の会計方式ではあらわしにくい資産や負債の状況や行政サービスにかかるコストなどを、企業会計的手法により作成した書類です。

本市では、平成28年度決算から全国の地方公共団体と比較できる「統一的な基準による」財務書類等を作成し、公表しました。これにより、より実態をあらわす財務書類等となりました。

4つの表には、下の図のような相互関係があります。

**貸借対照表**は、市が保有している土地や建物などの財産（資産）の合計と、その財産を築くための財源（自己資金や借入金、国・県支出金など）の合計を、年度末時点で左右に並べ比較した表です。これにより、現在までに整備された資産の財源構成のうち、将来返済しなければならない負債（他人資本）と、返済を要しない純資産（自己資本）を把握することができます。2年度末の資産合計は1兆8,220億円、負債合計は5,632億円となりました。

(単位：億円)

貸借対照表			
資産合計	18,220	負債合計	5,632
1 固定資産	17,926	1 固定負債	5,064
2 流動資産	294	2 流動負債	568
うち現金預金	104	純資産合計	12,588

(単位：億円)

資金収支計算書	
業務活動収支	80
+	
投資活動収支	△155
+	
財務活動収支	78
本年度資金収支額 ①	3
前年度末資金残高 ②	81
本年度末資金残高 ③ (①+②)	84
本年度末歳計外現金残高 ④	20
本年度末現金預金残高 ⑤ (③+④)	104

**資金収支計算書**は、1年間のすべての行政活動について資金（現金預金）の流れを表すものです。

令和2年度末の現金預金残高は104億円となりました。

**行政コスト計算書**は、貸借対照表に計上されない人的サービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスに要した経費（コスト）と、それに対する受益者負担分（収益）を表すものです。

経常費用と経常収益の差額である純経常行政コストは2,664億円となりました。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策経費として790億円を臨時損失に計上しています。

(単位：億円)

行政コスト計算書	
経常費用	2,826
業務費用	1,587
・人にかかるコスト	724
・物にかかるコスト	822
・その他にかかるコスト	41
移転費用（移転支出的コスト）	1,239
↓	
経常収益	162
純経常行政コスト	2,664
+	
臨時損失	821
↓	
臨時利益	1
純行政コスト	3,484

(単位：億円)

純資産変動計算書	
前年度末純資産残高	12,632
↓	
純行政コスト	3,484
+	
財源	3,434
+	
資産評価差額	△3
+	
無償所管換等	9
本年度末純資産残高	12,588

**純資産変動計算書**は、貸借対照表の「純資産」（実質的な資産）について、1年間でどのようなお金の増減があったかを表すものです。

令和2年度末の純資産残高は12,588億円となりました。

上記『貸借対照表』の数値を、本市の人口で割り、市民一人当たりの額を算出すると、**市民一人当たり 資産263万円 負債81万円** となります。

※令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口69万2,374人で計算しています。

## 健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率及び資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて算定する、財政の健全性を表す指標です。

### 健全化判断比率

○令和2年度決算においても早期健全化基準を下回り、一定の健全性を確保しています。

指 標	解説	2年度比率	早期健全化基準 <sup>※1</sup>	財政再生基準 <sup>※2</sup>
①実質赤字比率	1年間の収入に対する一般会計等の赤字の割合	—	11.25%	20.0%
②連結実質赤字比率	1年間の収入に対する市全体の赤字の割合	—	16.25%	30.0%
③実質公債費比率	1年間の収入に対する1年間に支払った公債費（借金の返済）などの割合	6.5%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	1年間の収入に対する今後支払わなければならない公債費などの割合	48.8%	400.0%	—

(注)「—」表示は、赤字がない状況です。



- ※1 早期健全化基準：健全化判断比率のうち、いずれかひとつでも早期健全化基準以上の場合は、**財政健全化団体【自主的に健全化を図る予防的段階】**となり、「財政健全化計画」を策定し、改善に取り組むこととなります。
- ※2 財政再生基準：①～③の健全化判断比率のうち、いずれか一つでも財政再生基準以上の場合は、**財政再生団体【国等の関与による財政再生段階】**となり、「財政再生計画」を策定し、国の関与の下、厳しい歳出削減などに取り組むこととなります。

### 資金不足比率

特定の特別会計と企業会計は、経営の健全性を判断するため、事業の規模に対する資金の不足額の割合を示す資金不足比率を算定します。

本市の場合、水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計、簡易水道事業会計、中央卸売市場事業会計及び農業集落排水事業会計の6会計が対象となります。

○令和2年度決算においても資金不足が生じている会計はありませんでした。

指 標	解説	2年度比率	経営健全化基準 <sup>※3</sup>
資金不足比率	事業の規模に対する資金不足の割合	—	20.0%

(注)「—」表示は、資金不足がない状況です。



- ※3 経営健全化基準：資金不足比率の基準です。資金不足比率が経営健全化基準以上の場合は、**経営健全化団体【公営企業の経営の健全化を図る段階】**となり、「経営健全化計画」を策定し、改善に取り組むこととなります。

# 指標から見た市の決算状況

健全化判断比率等の推移と、他の政令指定都市との比較です。

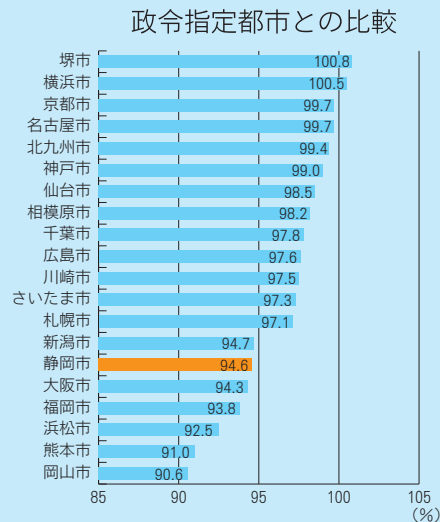
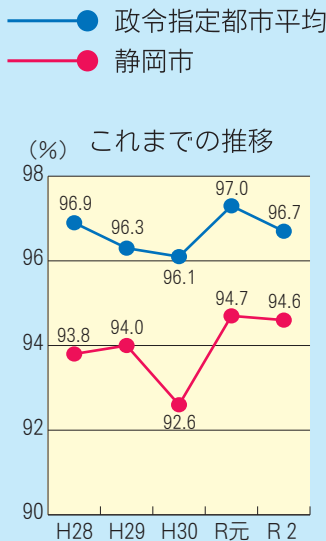
## 経常収支比率

市税や地方交付税等の経常的収入が、人件費や扶助費、公債費などの経常的経費にどれだけ使われているかを示す指標です。

この数値が低いほど財政に余裕があることになります。

令和2年度は、地方消費税交付金や法人事業税交付金の増加などにより、0.1ポイントの減となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



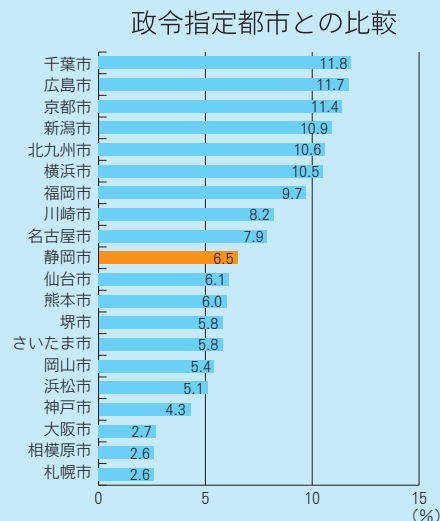
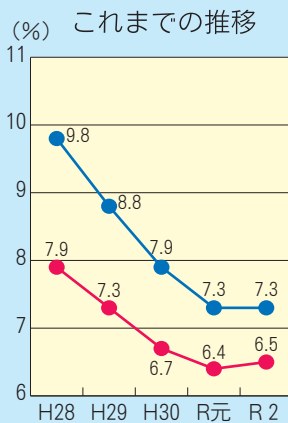
## 実質公債費比率

1年間の収入に対する1年間に支払った公債費(借金の返済)などの割合です。

この数値が低いほど借金の返済以外に使えるお金が多いことになります。

平成22年度をピークに、減少傾向となっていました。2年度は一般会計等が負担する公債費が増加したことにより、前年度比0.1ポイントの増となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



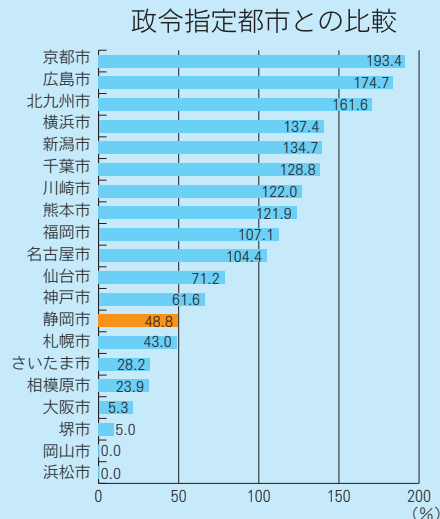
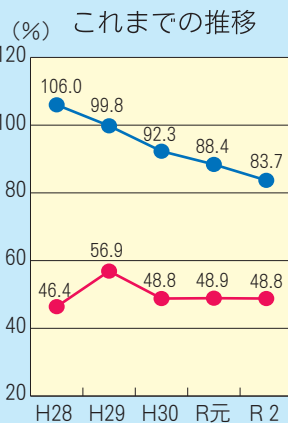
## 将来負担比率

1年間の収入に対する将来にわたり支払わなければならない公債費などの割合です。

この数値が低いほど、将来への負担が少ないことになります。

令和2年度は、法人事業税交付金、地方消費税交付金等が増加したことにより、0.1ポイントの減となりました。

政令指定都市平均と比較すると低い数値となっています。



## 令和2年度の主な事業

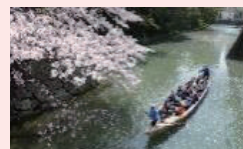
第3次総合計画のうち、静岡市がもつ資源を活かし、まちの価値を高める施策（5大構想）に予算を重点配分し、事業を実施しました。

### 1 歴史文化の拠点づくり

- 静岡市民文化会館再整備基本計画等策定事業
- 葵舟によるお堀の水辺活用事業
- 歴史文化施設建設事業
- 駿府城跡天守台の発掘調査、発掘調査の見える化
- 追手町音羽町線等にぎわい空間の整備



駿府城跡天守台  
発掘調査、発掘調査の見える化



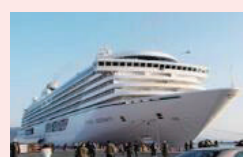
お堀の水辺(葵舟)活用事業

### 2 海洋文化の拠点づくり

- 清水港海づり公園整備事業
- 駿河湾フェリー運航支援事業
- 清水港客船誘致事業
- 清水港線跡遊歩道整備事業



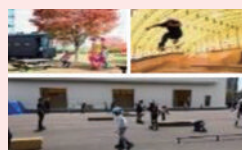
清水港海づり公園のイメージ



清水港客船誘致事業

### 3 教育文化の拠点づくり

- 駿河まなびのまちづくりリブランドデザイン策定事業
- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業
- JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業
- 「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業
- JR草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業



「アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業



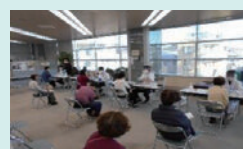
「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

### 4 「健康長寿のまち」の推進

- 認知症ケア推進体制整備事業
- 成年後見制度利用促進事業
- 生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業
- 高齢者就労促進事業
- 日本一おいしい学校給食の提供事業



認知症ケア推進体制整備事業  
(かけこまち七間町)



生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業  
(健康フェスタ2020)

### 5 「まちは劇場」の推進

- 「まちは劇場」推進事業
- ナイトツーリズム推進事業
- 賑わい創出イベント
- 北街道線魅力空間創出事業
- 市民参加型舞台公演事業



ストレンジシード静岡2021



ドライブインシアター(日本平山頂)

### 3次総重点プロジェクトのその他の主な事業

#### <定住人口の維持に係る事業>

- 新幹線通学費貸与事業
- 高校生、短大生、大学生に対する奨学金貸付事業
- テレワーカー移住促進事業
- 地域おこし協力隊配置事業

#### <交流人口の増加に係る事業>

- 地域連携DMOの推進
- アリーナ誘致推進事業
- JR駅前等賑わい創出事業
- 中部5市2町イベントニュース発行事業

## 令和2年度の主な新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、市民の生命を守ることを最優先にした「生命（いのち）のLife」と、日常を取り戻すための「生活（くらし）のLife」という2つの「Life（ライフ）」を守るための対策を実施しました。

### いのち Lifeを守ろう

#### ① 感染拡大防止対策

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 新型コロナウイルス感染症PCR検査費支援事業
- 私立こども園・保育所等感染症拡大防止対策事業費助成

#### ③ 市民生活への支援

- 特別定額給付金給付事業
- 子育て世帯臨時特別給付金給付事業
- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業
- 新型コロナなんでも相談ダイヤル運営事業

#### ② 医療・福祉への支援

- 公的病院事業費助成
- 重症患者対応体制整備事業費助成
- 医療用テント等整備事業
- 社会福祉施設等へのマスク配付事業



ワクチン接種

### くらし Lifeを取り戻そう

#### ④ 児童生徒への支援

- 学校保健特別対策事業
- 補充学習による学びサポート事業
- 臨時給食提供事業
- 放課後児童クラブ感染症拡大防止対策事業

#### ⑥ 地域経済の活性化

- モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業
- G・O・T・おしずおかキャンペーン事業
- エール静岡消費喚起事業費助成

#### ⑨ その他の支援・対策等

- 指定管理料の変更
- 学校給食用物資の損失補償

#### ⑤ 中小企業等への支援

- 新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業
- エール静岡事業者応援金支給事業
- エール静岡飲食業界支援金支給事業
- エール静岡観光事業支援金支給事業

#### ⑦ 文化・スポーツへの支援

- 「まち劇場」パフォーミングアーツ発信事業
- 文化活動・スポーツイベント緊急支援事業費助成

#### ⑧ 新しい生活様式に対応した環境整備

- 学習用情報端末整備事業



学習用情報端末の活用



# 4. 効率的な財政運営のために

## 行財政改革の状況

本市では、「豊かな地域社会を実現するための最適な行財政運営」を基本理念とする「第3次静岡市行財政改革推進大綱（H27年度～R4年度）・同後期実施計画（R元年度～R4年度）」（前期実施計画はH27～H30年度）を策定し、単なるコスト縮減だけでなく、住民の生活の豊かさと質の高い行政運営の実現を目指しています。

今後は、大綱に掲げる基本理念を実現するため、不断の事務事業の見直しなど、費用対効果の高い行財政改革の取組を推進するとともに、諸施策の「選択と集中」を図ることで、将来にわたって持続可能な市政運営に努めていきます。

### 第3次行財政改革の実績（R2年度）

- R2年度の効果額…44億7,149万円（収入増額：17億4,601万円、削減額：11億7,948万円、将来負担の軽減：15億4,600万円）

（単位：百万円）

年 度		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
計画額あり	収入増額	計画	1,375	1,939	2,307	2,590	8,211
		実績	2,108	1,741	—	—	—
	削減額	計画	587	1,017	1,979	2,585	6,168
		実績	395	1,115	—	—	—
	将来負担の軽減	計画	1,385	1,409	1,389	1,379	5,562
		実績	1,398	1,355	—	—	—
小計	計画	3,347	4,365	5,675	6,554	19,941	
	実績	3,901	4,211	—	—	—	
達成率		116.5%	96.5%	%	%	%	
計画額なし	収入増額	3	5	—	—	—	
	削減額	6	64	—	—	—	
	将来負担の軽減	341	191	—	—	—	
	小計	350	260	—	—	—	
合計	収入増額	2,111	1,746	—	—	—	
	削減額	401	1,179	—	—	—	
	将来負担の軽減	1,739	1,546	—	—	—	
合 計		4,251	4,471				

#### ■主な取組内容と効果額

##### <収入増額>

- 市税等の収納率の向上 約4.3億円
- 課税客体の的確な把握による税込確保 約2.9億円
- 未利用地等の売却の推進 約2.8億円

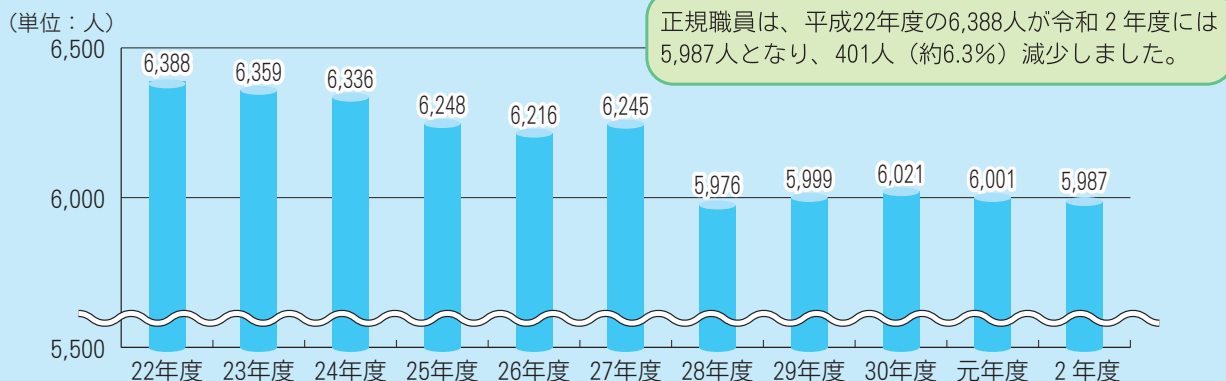
##### <削減額>

- 予算の定期点検の実施 約8.4億円

##### <将来負担の軽減（投資的経費の縮減額）>

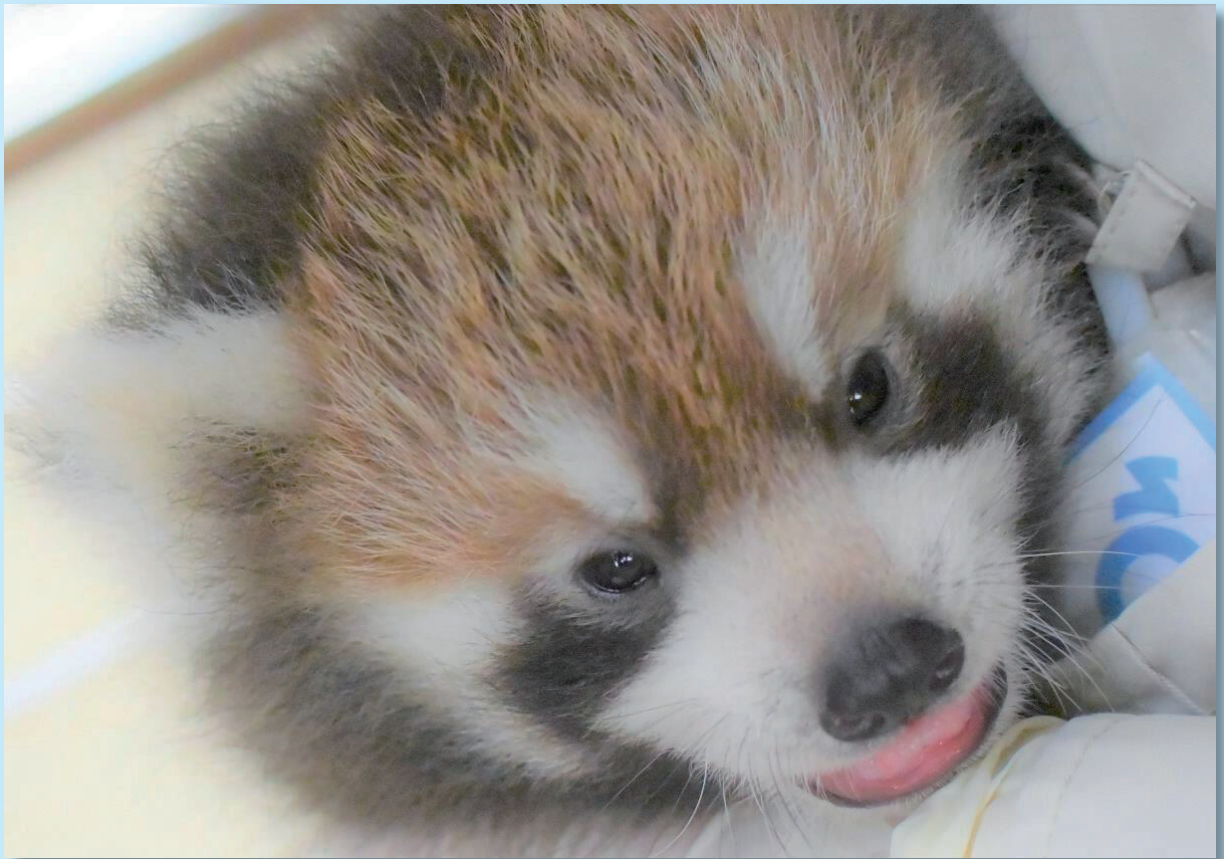
- 道路橋の長寿命化の推進 約11.5億円

#### ●職員数の推移



※平成27年度から平成28年度にかけての大幅な減少は、静岡病院独立化（669人減）と消防救急広域化（261人増）による増減を含んでいます。

※平成29年度に県から市に権限が委譲された旧県費負担教職員は含んでいません。



2021年8月4日に誕生したレッサーパンダ かずのこ（♂）  
（日本平動物園）

発行：令和4年3月

**静岡市財政局財政部財政課**

TEL：054-221-1026

FAX：054-221-1749

E-mail：zaisei@city.shizuoka.lg.jp

ホームページ：[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_001826.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_001826.html)

決算の状況や財務状況については、ホームページで詳しく紹介しています。